



昨年度に引き続き平成30年度熊本市PTA協議会会長を仰せつかりました、楠中学校PTA会長の家入です。

昨年度は、初めての熊本市PTA連合会との共催で、「熊本はひとつ 震災復興ひのくに大会」を無事に開催することができ、あらためて熊本は一つであるというこの実感と同時に、熊本市を含む、熊本県全域の会員の皆様からの大きな力をいただいたように感じられたとても素晴らしい大会となりました。

我々市PTAとしても、このような大きな大会の運営を初めて経験することができ、ひとりひとり得るものも多くあったと思います。昨年度の私のあいさつの中で、本大会開催にあたりお力添えをいただいた方々に、「このような道が開けるのか、どのような未来が創られるのか、そして、振り返った時に、どれほど大きな喜びや、感動の道が広がっているのかも楽しみの一つです」と話をさせていただきました。

私自身、本大会が終わった後多くの方と話をさせて頂きましたが、皆さん一様に充実感や達成感を感じているように思いました。大きな大会で、自分は小さな歯車だと思わず、みんなで協力し、支え合い、助け合っ中、きつと自分自身の喜びや感動の道が広がっていったのではないかと嬉しく思っています。

2年後に迎える、日本PTA九州プロトコル協議会「仮称・くまもと大会」に向け、結束もより一層深まり、大きな一歩が踏み出せたことを確信しました。同大会に向け、皆さまには更なる「理解」「協力」を賜うこととなりますが、なにとぞよろしくお願いたします。



熊本市PTA協議会 会長 家入 淳

ところで、熊本市PTA協議会も、政令市PTAとして7年目を迎えるにあたり、熊本市教育委員会をはじめとし、熊本市の関係諸団体との連携体制も更に深まり、様々な活動に対しても、より密接な協議ができるようになってきたと実感しております。市PTA協はひとつの協議会として歩みを進めておりますが、関係諸団体の力添えなくしては、役割や活動すらも困難になります。子どもたちの未来のため、更なる連携体制がとれるよう、これからも連携強化を図っていきたく思っております。

また、「公社」日本PTA全国協議会に直接加盟を果たし2年が経過したなかで、我々熊本市のPTA会員として、どのような変化が起きているのかを直接肌で感じることはなかなか難しいと思いますが、「学びの場の充実」、「全国のさまざまな情報の共有」、「各県・各政令市PTAとの直接協議を行うこと」が見えた、PTAの在り方「など、新たな学びや見解など、数多くの情報を得ることができています。

このような情報については、市PTA協で協議した後、会報やホームページに掲載し周知を図ったり、各区P連を通じて、各単Pまでいき渡るようにしておりますので、それぞれの単Pでも周知徹底のご協力もよろしくお願いたします。

そして、日P加盟を果たしたことで見えてきた、一PTA協議会としてだけではなく、一社会教育団体としての役割の重要性や必要性もあらためて痛感しているところでもあります。

このように、行政・関係諸団体・全国のPTA会員と手を携えることで、今まさに市PTA協は大きく変わろうとしています。

ここで、明治維新百五十年に沸き立つ、お隣の県「鹿児島」の西郷隆盛の言葉を紹介したいと思います。

熊本市PTA協議会 会長 家入 淳 編集責任者 及川 雅恵 〒861-8074 熊本市北区清水本町16-10 熊本市健康センター清水分室新館2F TEL(288)3750 FAX(288)3754 http://www.kumamotocity-pta.net info@kumamotocity-pta.net 印刷：(株)キャップ TEL(362)3333

「急速は事を破り、寧耐(ねいたい)は事を成す」という言葉です。

「寧耐」とは、その字が表すように「落ちて耐え忍ぶ」という意味になります。

この言葉の意味は「焦って物事に取組むと失敗し、冷静沈着に忍耐強く取り組むことで物事は成功する」ということを言っています。

先ほど私は挨拶の中で、「行政・関係諸団体・全国のPTA会員と手を携えること」で、今まさに市PTA協は大きく変わろうとしています。「と話しました。

大きく変わろうとしている時だからこそ、焦って物事を解決に導くのではなく、しっかりと丁寧に、時に忍耐強く取り組む時期に差し掛かったのではないかと思っています。

29年度も、さまざまな課題が生じました。一年かけて、三役会や理事会、臨時での会議、関係諸団体を含む協議など幾度となく開催してきましたが、それを経ても、いまだ解決に至っていない課題があるのも事実です。だからと言って、年度末にすべての課題に対し解決の姿勢を示すのではなく、継続的課題については年度をまたいで、役員が変わっても、市PTA協として真摯に向き合い、解決に導いていくべきである、あらためて思っているところでもあります。

市PTA協の役員だけでは、解決できないこともあるかもしれません。その時はどうぞ皆さまの温かいご支援・ご協力をいただければ幸いです。

結びになりますが、各単位PTAの更なるご発展と、本日「参集の皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしまして、また、皆様ひとりひとりが、未来のPTAの道しるべになっただけの願いを願ひまして、私の挨拶にかえさせていただきます。

今年度もどうぞよろしくお願いたします。

退任者挨拶

子どもたちのため



この度、市PTA協常任理事を退任し、時間の経過と共にじわじわと実感が湧いて少し淋しい気持ちでいます。大変なこともありましたが、貴重な経験ばかりの日々でした。他の理事さん方と一緒に「子どもたちのため」を共通目的として討議するべく定期的に集まるのも日常の楽しみのひとつでした。今後そのような活動を陰ながら応援しています。

前熊本市PTA協議会 副会長 建山洋孝

大きな財産



1年間お世話になりました。単P役員として7年、市PTA常任理事としての2年、退任して最初に去来した感情は、寂しさでした。大変で苦労したことも多かったです。それに勝る楽しさ、喜びがあったのだと思います。一つの意思で繋がったこの様々な関係は、得難い大きな財産であり、不変です。また、どこかの機会です。

前熊本市PTA協議会 副会長 夏木良博

出会いに感謝



2人の子どものおかげでPTA役員をさせて頂いて、たくさんさんの経験ができ、素敵な出会いがあり、とても楽しい時間を過ごさせてもらいました。PTAって、大変なところだと思いましたが、助け合える仲間や家族がいつも側で支えてくれました。仕事や家事で忙しい...と思うなかで、学校での活動は我が子と繋がれる最高の瞬間です。これからは地域の住民として会員の皆さんを応援しています。ありがとうございました。

前熊本市PTA協議会市P担当 副会長 浦田久美子

平成30年度 熊本市PTA協議会スローガン 「未来ある子どもたちのために! 今、できることを」 ~ すべての子どもたちのため、大人も学び続けよう ~



宣言 熊本市が復興する中で、家庭、学校、地域の相互理解と連携はこれまで以上に重要になっている。私たち大人が積極的にPTA活動に参加し、その責任を自覚するとともに、子どもたちが道徳心とところざしを持ち、思いやりにあふれた人間に成長するよう、熊本市PTA協議会の名のもとに、PTA活動を下記のとおり推進することを宣言する。

記 一、命の大切さを理解し、人のいたみがわかる心をもった子どもへの育成に努める。 一、家庭でのコミュニケーションを促進し、自分の夢をしっかりと持ち、自ら学び、自ら行動できるような主体性を持った子どもの育成に努める。 一、私たちも地域社会の一員としての自覚を持ち、共に学び共に育つために、地域活動及びPTA活動を実践し、安心で安全な環境の整備と充実を努める。

平成30年5月26日 熊本市PTA協議会 総会

役職名	所属	名前	区	学校名		
役員・三役	会長	家入 淳	全	楠 中		
	副会長	広報	磯田 圭輔	中央	出水南中	
		総務	松本 知樹	東	東野中	
		厚生	前淵 洋子	西	花陵中	
		教養	松島 雄一郎	南	田迎西小	
常任理事	健安	上木崎 純幸	北	榎木小		
	市P担当副会長	部会長	教養	日高 加寿美	南	富合中
	会計	理事	厚生	林田 将希	西	城山小
		健安	谷口 晋一	北	植木小	
	専門委員会委員長	広報	及川 雅恵	中央	黒髪小	
		総務	鹿子木 信	東	画図小	
		厚生	今村 吉宏	西	春日小	
		教養	橋口 健二	南	日吉小	
		健安	西本 彰文	北	龍田西小	
		常任理事	広報	佐藤 準一	中央	本庄小
総務			田中 哲郎	東	錦ヶ丘中	
教養			渡邊 海峰	南	隈庄小	
広報			小崎 愛季	中央	出水小	
監事		総務	嘉悦 奈津子	東	東部中	
	厚生	堀江 美穂	西	城西小		
	健安	境 真紀	北	西里小		
	三枝 敬明	東	西原中			
参与	津川 真一	南	力合小			
	教育政策課	課長	上村 鋭二			
	指導課	課長	松島 孝司			
	小学校長会	校長	平生 典子	東	桜木東小	
	中学校長会	校長	出崎 友英	西	三和中	
事務局	教育政策課	主幹	上村 奈津子			
	主任主事	倉橋 宏明				
事務局		森川 和憲				
		山田 清佳				